

コース番号 3M151

## 各種の溶接施工技術

～溶接の基本とアーク溶接の手順・方法～

溶接は、金属を接合するための技術です。単なる接着ではなく、素材同士を高温に加熱して溶かし、融合させることで一体化を図ります。主に金属に対して使われますが、最近では樹脂やセラミックスなどへの応用も進んでいます。

溶接は、建築、造船、自動車、航空、機械製造など、あらゆる製造業で不可欠な工程です。

本コースでは、溶接の基本知識(溶接の種類、用途、メカニズム等)をはじめ、溶接の中でも最も幅広く利用されている“アーク溶接”について講義と実習を通して学んでいただきます。

開催日時	10月14日(水)、21日(水) [2日間] 各日 9:00～16:00				
定員	10名	受講料	10,500円	開催場所	四国職業能力開発大学校
カリキュラム	<div> <p><b>1. 溶接の概要－“溶接”とは？－</b>            (1)溶接とは            (2)溶接の3分類(融接、圧接、ろう接)            (3)溶接が使われる場面            (4)溶接と他の接合方法(ボルト締結・リベット・接着)との違い</p> <p><b>2. 溶接の種類と特徴、用途</b>            (1)融接(溶融溶接)              イ. ガス溶接              ロ. アーク溶接              ハ. レーザー溶接 etc            (2)圧接(加圧溶接)              イ. 抵抗溶接              ロ. ろう接              ハ. ろう付け</p> <p><b>3. アーク溶接の種類と原理メカニズム</b>            (1)アーク溶接の種類と特徴、使用用途              イ. 被覆アーク溶接              ロ. 半自動アーク溶接              ハ. TIG 溶接            (2)アーク溶接の原理メカニズム</p> <p><b>4. 【実習】アーク溶接の特徴と基本手順</b>            ～3種類のアーク溶接作業を体感し、特徴と溶接方法・手順について理解を深める！～            (1)アーク溶接作業のリスクと安全対策            (2)アーク溶接作業              イ. 被覆アーク溶接              ロ. 半自動アーク溶接              ハ. TIG 溶接</p> <p><b>5. 溶接の欠陥と検査の種類</b>            ～溶接は金属同士をくっ付けて終わりではない～            イ. 溶接欠陥の種類            ロ. 溶接検査の種類</p> <p><b>6. まとめ</b></p> </div>				
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、溶接保護具				



### 【お問い合わせ】

四国職業能力開発大学校(四国ポリテクカレッジ)

〒763-0093 香川県丸亀市郡家町 3202 番地 TEL:0877-24-6298(援助計画課)

E-mail:shikoku-college03@jeed.go.jp